



特定非営利活動法人

神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHEN GESELLSCHAFT KOBE

Nr. 397

August 2024

特定非営利活動法人 神戸日独協会
〒651-0085 神戸市中央区八幡通2-1-20
神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部1F
TEL/FAX 078-230-8150
E-mail: info@jdg-kobe.org
URL <https://www.jdg-kobe.org/>

NPO JAPANISCH-DEUTSCHE
GESELLSCHAFT KOBE
Bei Kobe Regatta & Athletic Club
In Isogami-Park Hachiman-Dori 2-1-20
Chuo-ku Kobe, Japan 〒651-0085

ハンブルク桜の女王・ハンブルク独日協会歓迎会

2023年5月にハンブルク独日協会主催の「ハンブルク桜の女王」選出大会にて第四代ハンブルク桜の女王の栄冠に輝いたアレグラ＝スカーレット・テルナー Allegra-Scarlett Turner さんがハンブルク市独日親善大使として来神します。桜の女王にはハンブルク独日協会の橋丸榮子会長が同行して来られます。今回の選考はコロナ禍のため4年ぶりであり、9月18日の東京での日本さくらの会の式典に合わせての来日です。

テルナーさんはシュレスヴィヒ・ホルシュタイン州の Henstedt-Ulzburg の出身で、早稲田大学に留学され、現在はクライアント・サービスコンサルタントをされています。趣味は読書、旅行、ピアノとのこと。

神戸日独協会は下記のように歓迎会を開催します。多くの方のご参加をお待ちしています。

日 時： 2024年9月20日(金) 19:00～21:00

場 所： ステーキ&ビアレストラン「ロイン 三宮店」(神戸国際会館南前のビル地下1階)
神戸市中央区磯上通8-1-19 カーサグランデ神戸ビルB1、078-242-3611

会 費： 6000円 (飲物は各自払い)

当日会場にてお支払いください。(2日前以降のキャンセルは後日会費をいただきます)

申 込： 9月18日(水)17時までに事務室へメール・電話・ファックスでお申し込みください。

Empfangfeier für Hamburger Kirschblütenkönigin und Präsidentin der DJG Hamburg

◇Datum : 20. September 2024 (Frei.) 19:00 — 21:00

◇Ort: Bierrestaurant „Roin“ in Sannomiya, Kobe

Casa Grande Kobe Building B1 F (Südlich vom Kobe International House)

◇Kosten: 6000 Yen

(info@jdg/kobe.org oder Tel./FAX 078-230-8150)

ELLINGTON & 即興の島

ベルリン在住でヨーロッパを中心にジャズ、即興音楽シーンで活躍するピアニスト高瀬アキ、デュオで近年活動を共にしフランスやドイツで注目されているサクソ奏者 Daniel Erdmann と共に、音楽とダンスとの即興セッション『ELLINGTON & 即興の島』が、神戸旧居留地の 100BAN ホールにて、大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館の後援、ゲーテ・インスティテュートの助成にて開催されます。

第一部は高瀬アキ・Daniel Erdmann がデューク・エリントンのナンバーを奏でる「ELLINGTON」、第二部はダンスと音楽が交差し浮かび上がる「即興の島」。

出演者： 高瀬アキ(Piano)、Daniel Erdmann(Saxophone)、Dance 岡登志子 垣尾優 桑野聖子
Drawing : 櫻井類

神戸のみ、一夜かぎりの Live です。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

日 時： 2024年10月2日(水) 19:00～ (18:30 open)

会 場： 100BAN ホール(神戸市中央区江戸町 100 番地 神戸旧居留地 高砂ビル 2F)
・三宮駅(JR・阪急・阪神)から徒歩 7 分

料 金： 4500円(予約) 5000円(当日) * 1drink 付き

ご予約： フォームからご予約ください。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdJWN-yhy273L-RV20oe_68Pw9K9Mfx_sJMO2mBfl7mQ1ul5Bw/viewform

※フォームからのご予約が難しい方はメール ensemblesonne@gmail.com まで、ご予約のお名前、人数をお知らせください。

※お電話でのご予約は 100BAN ホール(Tel. 078-331-1728)へ

行事報告

ビアフェスト2024に参加して

会員 武村 陽子

今年の夏のビアフェストは8月3日土曜日の夕方5時から7時半まで、三宮のレストラン「ロイン」を日独協会が貸切って行われました。酷暑の中、少しでも早く冷房の効いたところに入りたいと思い、4時15分ぐらいに着いてしまいました。すでに早くから来られて準備をしてくださっている方もおられました。4時半ぐらいにはかなりの人がお集まりになり、席がどんどん埋まり、時間通りにはパーティーが始まりました。

まず初めに、岩島

さんの歌と平野さんのアコーディオンのリードによる「乾杯の歌」Ein Prosit der Gemütlichkeit をみんなで歌いながら、ビールでの乾杯！

料理はビュッフェスタイルで、生魚のサラダやシチューなどいろんな種類の洋食メニューが出され

ました。ドリンクも決まったメニュー内で飲み放題でしたので、乾杯の後は、それぞれビールやワイン、ソフトドリンクなど好きなドリンクを注文して周りの人たちとの歓談を楽しみました。

続いて、岩島さんの美しい歌声による「美しい娘さん」Schöne Maid、歌詞が配られていたので見ながら所々で一緒に歌いました。他に「いざ飲めや、兄弟よ」Trink, trink, Brüderlein trinkなどを歌ったり、アヒルのダンスを皆で踊ったりと、たくさんのビアホール音楽を楽しみました。

ビアフェストですが、ビールを飲んで食べるだけでなく、歓談しながら、歌ったり踊ったりと、2時間半があつという間でした。

一時だけですが、暑さも忘れることができました。

準備をしてくださった方々、音楽を演奏してくださった方、写真を撮ってくださった方、一緒にお話ししてくださった方、皆様に感謝いたします。

大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館開設150周年記念講演会 「神戸での日独交流～現状と将来展望～」に参加して

神戸大学国際協力研究科博士前期課程1年 東 和佳奈

先月の6月23日、神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部ホールにて大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事開設150周年記念講演会が開催されました。関西の様々な地域から、日独両国に関係の深い方々が一堂に集い、和やかな雰囲気でも両国国歌演奏と共に講演会が始まりました。

ドイツ総領事館は、二度の世界大戦、阪神淡路大震災にあっても日独両国の人々のたゆまぬ努力のもと150周年を迎えました。また、神戸日独協会は、日独交流の門戸を開き続け、市民同士の憩いの場、交流の中心地として活動してきました。ドイツ総領事、メラニー・ザクシンガー氏は「日独両国は、互いに相手国を信頼できる政治的・経済的パートナーであり、特にドイツと神戸の良好な関係や緊密な絆は、それぞれの世代において更新され、さらに発展していかなければならない。」と述べられました。この言葉に示されるように、日本とドイツは、国レベルで、自由、民主主義、多元主義といった価値観を共有する強固な関係を、都市レベルで青年交流や音楽交流といった姉妹都市関係を築いてきました。150周年という連綿と続いた歴史は、このような着実な市民交流によって支えられてきたということを知りました。その後、神余氏は、神戸港開港以来、国際都市として発展してきた神戸を再び国際企業や国際機関の集積地とするためにどのような戦略をとっていくべきかという示唆に富んだ公演をされました。また、小坂氏は在ハンブルク総領事であった際の経験をもとに、経済的観点からいかに日独産業が交流、協力、発展していくことできるのか、その可能性をお話しいただきました。講演会後の祝賀会では、神戸市長久元氏、兵庫県副知事の片山氏も交え、ドイツ料理や日本料理がふるまわれ、歓喜の歌の演奏とともにあたたかな交流の場となりました。

私は、二年前に日独協会でインターンをさせていただき、また去年はハンブルクに留学するという機会をいただきました。今回の祝賀会への参加を通して、日本においてこれだけの方が、交流を支えてきたのかということに感動しました。また、ドイツの政治を研究するものとして、ドイツに留学して両国を知っているものとして、これまで連綿と続いてきた日独交流を担っていきたいなと思い

ました。さらに、ザクシンガー氏が最後におっしゃった「ユースの交流を」という言葉を受け、ユースとしてドイツのユースと共に交流を深めていけるような可能性を探りたいと思います。最後になりましたが、本講演会、祝賀会を主催して下さった柘田夫妻に心より感謝申し上げ、本寄稿をしめさせていただきます。

会員の広場

このコーナーは、会報を通して会員相互の交流をしていただくための「広場」です。投稿をお待ちしています。

(投稿規定: MSPゴシック12ポ、A4 1枚程度まで(多くの方に投稿していただくために、字数を厳守してください)、添付にて毎月第4月曜までに事務局へ)

オペラ・フェスティバル三昧の10日間

理事 押尾 愛子

私はオペラが大好きで、よくヨーロッパにオペラを見に行きます。この10年程は、毎年夏のオペラ・フェスティバルにも。オペラ・フェスティバルというと有名なのは、ワーグナーのオペラを上演するバイロイト音楽祭、豪華な雰囲気のあるザルツブルク音楽祭、ロッシーニのオペラを上演するペーザロのロッシーニ・フェスティバルなど。

これらがどちらかというとオペラ通好みなのに対して、ヴェローナの円形競技場をそのまま利用して行われる野外オペラや、湖に舞台を設置して湖畔の客席から見るブレゲンツやメルビッシュの湖上オペラは客席数も多く、一般の観光客も多く訪れます。

オペラ・フェスティバルに行くのは2019年にバイロイトとザルツブルクに行って以来、5年ぶりです。有名なブレゲンツの湖上オペラを未だ見たことがないので、行くことにしました。ブレゲンツはオーストリアですが、拠点となるのはミュンヘンかチューリッヒ、スイスは物価が高いため、ミュンヘン経由で。7月ならミュンヘンのオペラ・フェスティバルも見られます。更に調べると、以前から行きたいと思っていた、Bad Ischl のレハール音楽祭(オペレッタ・フェスティバル)も同じ時期にやっているので、7月下旬に3つのフェスティバルをまとめて見ることにしました。

まずミュンヘンでオペラを3日(タンホイザー、ペレアスとメリザンド、パルシファル)見てから Bad Ischl に電車で移動、電車に乗っている時間は3時間半ほどでそれほど遠くないのですが、途中 Attnang-Puchheim という駅で DB(ドイツ鉄道)から ÖBB(オーストリア鉄道)に乗り換えなければなりません。Bad Ischl ではオペレッタの開演が3時半で、駅近くのホテルにチェックインすると大急ぎでオペラハウスへ。700席余りのこじんまりした劇場ですが、満席とか。この日の出し物は Millöcker の“Bettelstudent”(乞食学生)。Millöcker はヨハン・シュトラウスと同時代に活躍した作曲家で、“Bettelstudent”はドイツ語圏では割とよく知られたオペレッタです。この町はホテルの数もそれほど多くないし、この人たちは何処から?とっていると、10台ほどのバスが見えました。そうか、ザルツブルクから日帰りのバスツアーがあるんですね。確かに Bad Ischl はザルツカンマーグートに位置しています。翌日は Paul Abraham の“Märchen im Grand Hotel”というミュー

ジカルみたいなオペレッタ。私も知らない作品なので事前に調べてから行きました。ドイツ語ですが、ユーチューブで見られます。

一度、ミュンヘンに戻ってまた2日オペラ(西部の娘、トスカ)を見てから、今度はブレゲンツへ。ミュンヘンから2時間半ほど行けます。ブレゲンツはザルツブルクを小さくしたような雰囲気、ボーデン湖に面した町です。オペラが始まるのは日没後の9時からで、休憩なしで上演し、7000席がいっぱいです。ここも近くの町からバスで大勢来ているみたいです。その翌日は同じくブレゲンツで、湖上オペラでなく、普通の劇場でオペラ(タンクレディ)、こちらは観光客でなく、オペラ好きが来ていました。

最後にまたミュンヘンでオペラ(トスカ)を見て、オペラ三昧の10日間を満喫しました。

ミュンヘンでは『トスカ』を2回見ましたが、そのうちの1回は Oper für Alle という無料のイベント。Bayerische Staatsoper の前の広場に巨大スクリーンが設置され、ピクニック気分でオペラを楽しんでくださいと、傍を通る市電も止めて、広場を開放。その日の『トスカ』にはオペラ界のスーパースター、ヨナス・カウフマンが出演ということもあって、開演前から大勢の人が集まり、マットを敷いて場所を取り、開演前は賑やかでした。が、7時に劇場でオペラが始まり、スクリーンに生中継されると、静まりかえってオペラに見入っていました。さすがミュンヘン！

Unsere Reise nach Ungarn

Mátyás Kőszegi

Ungefähr jedes zweite Jahr besuchen wir meine Familie in Ungarn. Diesmal sind wir Ende Juli losgefahren und sind am 14. August zurückgekehrt. Da es keine Direktflüge nach Budapest gibt, muss man einmal umsteigen. Mit Finnair haben wir immer nur positive Erfahrungen gemacht, also haben wir uns für sie entschieden. Für die Kinder ist es immer schwer, sich an den Zeitunterschied anzugewöhnen, daher sind wir drei Tage in Helsinki geblieben, bevor wir weitergeflogen sind.

In Helsinki war das Wetter überraschend kühl, tags lagen die Temperaturen zwischen 17 und 23 Grad. Mir gefällt die Stadt, besonders das Zentrum ist schön. Damit wir uns nicht verlaufen, habe ich vor der Reise einen Offline-Stadtplan von Helsinki auf mein Handy heruntergeladen. Die kostenfreie Applikation „Osmand“ zeigt unseren Standort via GPS auf der Karte, auch wenn das Handy im Flugzeug-Modus ist. Das hat uns sehr viel geholfen!

Wir haben eine Schifffahrt gemacht, wobei es sehr kalt und windig war, aber es hat sich gelohnt, denn die Landschaft und die kleinen Inseln sind wirklich wunderschön. In Finnland gibt es ganz viele Köstlichkeiten, am besten finde ich die sehr berühmte Lachssuppe und als Hauptgericht Rentiergerichte. In Finnland können fast alle Englisch sprechen, aber auch überraschend viele Deutsch.

Auf dem Weg nach Ungarn ging es mir im Flugzeug schlecht, ich habe gedacht, ich habe mich auf dem Schiff erkältet. Mein Schwager hat uns vom Flughafen abgeholt, denn sie

wohnen ganz in der Nähe. Meine zwei Schwestern wohnen in Budapest, die anderen in Pécs, (Südungarn), ein Bruder in England – ihn konnten wir sonst im Juni in Kioto treffen. Drei meiner Geschwister haben Kinder, so konnten unsere Söhne sehr viel zusammen spielen. Gleich nach unserer Ankunft sind meine Eltern gekommen und haben uns nach Pécs gebracht, das ist meine Heimatstadt. Die Fahrt dauerte drei Stunden, die Landschaft machten überwiegend Raps-, Mais- und Weizenfelder aus. Das Wetter war die ganze Reise lang schön, es war heiß, meist über 30 Grad.

In Pécs leben ganz viele ungarndeutsche Menschen, die Stadt hat sogar einen deutschen Namen: Fünfkirchen. Leider hat es sich herausgestellt, dass meine Erkältung Corona war, so habe ich praktisch alle in meiner Familie angesteckt. Wir hatten Glück, dass die Symptome in zwei Tagen schon besser geworden sind. Abgesehen davon hatten wir eine sehr schöne und angenehme Zeit, ich konnte außer meiner Familie ganz viele Freunde treffen und die deutsche Bibliothek besuchen. Seit unserem letzten Besuch gab es viele Veränderungen, neue Spielplätze, Einrichtungen für Kinder und einen Erlebnispark, der uns besonders gefallen hat. Es war auch sehr gut, ungarische Gerichte essen zu können, vor allem Paprikawurst. Die Preise haben mich aber erstaunt, alles ist doppelt so teuer geworden! Man sagt, der Russland-Ukraine-Krieg sei daran schuld, aber ich glaube das nicht. Wir hatten eine wirklich schöne Zeit, unsere Kinder konnten ganz viel spielen und abends haben wir zusammen die Olympischen Spiele geschaut. Die letzten Tage haben wir wieder bei meiner Schwester verbracht, sie haben einen sehr großen Garten mit Trampolin und einem kleinen Pool.

Es war wirklich gut, nach so langer Zeit wieder zu Hause zu sein, ich freue mich schon auf unsere nächste Reise, dann möchten wir in Deutschland umsteigen

ハンガリーへの帰郷旅行

ドイツ語講座担当講師 マーチャーシュ・クーセギ

ほぼ2年ごとに私たちはハンガリーの私の家族を訪ねています。今回私たちは7月の終わりに出発をして8月14日に戻ってきました。ブタペストへの直行便がありませんので、一度乗り換えなければなりません。フィンエアでいつも良い経験をしてきましたので、それにすることに決めました。時差に慣れることは子供たちにとってはいつも難しいようです。それで、乗り換えてさらに飛行を続ける前に、ヘルシンキで3日間滞在しました。

ヘルシンキの天気は意外と涼しく、昼間の温度は17～23度でした。私はこの街が気に入っています。特に中心街は素晴らしいです。道に迷わないように、町歩きをする前に私はヘルシンキの市街地図をハンディーに取り上げました。無料のアプリケーション「オスマンド Osmand」が私たちのいる場所をGPSを介して地図上に示してくれます、たとえハンディーが飛行モードであったとしても。これは私たちには大いに役立ちました。

私たちはクルージングをしました。その時はとても寒く風も強かったのですが、しがいがありました。風景と小さな島々は本当にとっても美しかったので。フィンランドには実に多くの美味しい食べ物が

あります。私はとても有名な鮭スープが最高だと思います、メインディッシュとしてはトナカイ料理。フィンランドではほとんどすべての人が英語を話すことができます。その上意外にも多くの人ドイツ語を話します。

ハンガリーへの途中での機中では私の具合は良くありませんでした。クルージングの船上で風邪を引いたのでしたと思います。私の義兄弟が私たちを飛行機へ迎えに来てくれました。彼らはすぐ近くに住んでいるので。私の二人の姉妹はブタペストに、他の姉妹はペーチュ Pécs に、兄弟はイギリスに住んでいます。この兄弟にはこの旅行の前6月に京都で会うことが出来ました。私の3人の兄弟姉妹には子供がいます。それで私たちの息子たちはとても頻繁に一緒に遊ぶことが出来ました。私たちの到着直後に両親がやって来て、ペーチュへ連れて行ってくれました。ペーチュは私の郷里の町です。車で3時間かかりました。途中の風景の特徴は主に菜の花畑、トウモロコシ畑そして麦畑です。天気は旅行全体を通じて良かったです、暑く大抵は30度以上でした。

ペーチュにはハンガリー系ドイツ(ungarndeutsch)の人々が非常に多く住んでいます。この街はそれぞれどこかドイツ語の名前を持っています、Fünfkirchen (5つの教会)を。残念なことに、私は風邪ではなくコロナであったことが明らかになりました。それで私は実際に家族の全員に感染させてしまいました。症状が早くも2日したらより良くなったのは幸運でした。このことを除いて私たちはとても素晴らしく快適な時を持ちました。私は自分の家族以外にとっても多くの友人に会い、ドイツ図書館を訪れることが出来ました。私たちが前回訪れてから多くの変化があり、新しい遊園地や子供のための施設や特に私が気に入った体験公園(Erlebnispark)が生まれていました。ハンガリー料理、特にパプリカソーセージを食べることが出来たのもとてもよかったです。料金には驚かされました。すべてが倍額になっていました。ロシア・ウクライナ戦争がその原因であると人々は言っていますが、私はそうは思いません。私たちは本当に素晴らしい時を持ちました。私たちの子供達は全く持って大いに遊ぶことが出来、晩には一緒にオリンピックの試合を見ました。最後の日に私たちは再び姉妹のところまで過ごしました。彼女の家にはトランポリンと小さなプールのあるとても大きな庭があるのです。

こんなにも長く経ってからまた帰宅できたのは本当に良かったです。次の旅行を今から楽しみにしています。その時にはドイツで飛行機の乗り換えをしたいものです。 (柘田節子訳)

ドイツ歌声サロン

この会は、ドイツ歌曲・オペラの名曲、ドイツの流行歌やドイツ映画音楽、ビアソングのみならずドイツの家庭や集会で広く歌われ、日本でも親しみ歌い継がれてきたドイツの愛唱歌をも採り上げています。3ヶ月でドイツ語での歌3曲をマスターします。

9月は、引き続き In München steht ein Hofbräuhaus (ミュンヘンにはホーフブローイハウスがある)、Muß i denn (別れの歌)、An die Freude (歓喜の歌、ベートーヴェン交響曲第9番第4楽章で歌われる第一主題)を歌います。

講師：岩島 佳子さん

日時：2024年 9月7日(土) 13:30~15:00

場所：神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部教室

参加費：2000円

参加条件：神戸日独協会会員以外にも多くの方のご参加をお待ちしています。ドイツ語の歌を主として歌いますが、ドイツ語が初めての方も是非ともご参加ください。

申込：事務室へメール(info@jdg-kobe.org)・電話/ファックス(078-230-8150)にて。

ハントアルバイトの会(ポーセラーツ)

手仕事による製品作りのお好きな方の「会員サークル ハントアルバイトの会」が活動しています。カルチャー教室などでビーズ&ジュエリー刺繍やポーセラーツ等を学ぶ「ぶどうの木」を主宰している堀田真美子さんを講師としてお招きして、初めて参加の方はマグカップや小皿に、継続参加の方は希望の食器に希望の絵柄で製作します。自分のデザインによる食器作りを楽しみましょう。ご参加をお待ちしています。8月25日は休会させていただきます。

講師：堀田真美子さん

日時：9月22日(日)14:00~16:00

場所：神戸日独協会教室

会費：初心者1000円、継続者3000円（材料費+窯焼き代+道具使用料）

参加条件：神戸日独協会会員以外にも多くの方のご参加をお待ちしています。

申込：事務室へメール(info@jdg-kobe.org)・電話/ファックス(078-230-8150)にて。

ドイツ語談話室

第237回ドイツ語談話室

日時：2024年7月20日（土）14時—16時

場所：神戸日独協会会議室

テーマ：どのように休暇を過ごすか？

今回の司会は井川伸子さんが担当し、まず、休暇の“Urlaub”という言葉の語源、それは、“sich etwas erlauben, eine gute Zeit zu haben” 自分自身に何かいい時間を持つ余裕を与えるという意味から来ていることを説明しました。参加者からは、Urlaubの休暇、またはFerienの休日に自分の時間をどのように過ごすか様々な意見が出されました。

以下参加者の発言の一部を紹介します。

- 教会学校の子どもたちと一緒に夏休みキャンプに行き、そこで、料理を手伝い、楽しむ。
- いつも休暇になると、スキーをして楽しんでいましたが、残念ながら歳と共に、体が動かなくなってきたので、今回は、休み中に会いたいと思っていた小さな孫娘のところに行きたと思っている。それがとても楽しみだ。
- 遠く離れた老人ホームにいる母親に会いに行き、その時に今は空き家になっている実家を掃除し、自分が生まれ育った家で思い出に浸り一人でゆっくり過ごすのを楽しむ。
- 日本人は、温泉旅行が好きだ。滞在は短い、リフレッシュでき、休息できる。

— ドイツ人は比較的長い休みをとり、海岸で過ごし、素敵なホテルで一日中くつろいで過ごしたりする。

今後のドイツ語談話室の予定

第239回 2024年9月21日(土) 14-16時 テーマ: 世界の出来事

Protokoll der 237. Deutschen Gesprächsrunde

Zeit: Samstag, 20. Juli 2024, 14 bis 16 Uhr

Themen: Wie verbringe ich meinen Urlaub

Dieses Mal hatte Frau Nobuko Ikawa die Gesprächsleitung. Sie erklärte das Wort Urlaub, "sich etwas erlauben, eine gute Zeit zu haben." Die Teilnehmerinnen und Teilnehmer hatten verschiedene Ideen, wie sie ihre Zeit im Urlaub oder in den Ferien verbringen.

Hier einige der Wortmeldungen zum Thema :

-So erzählte eine Teilnehmerin, dass sie an einem Feriencamp mit Schulkindern beim Kochen hilft und viel Spass dabei haben wird.

-Ein Teilnehmer hatte immer viel Spass beim Skifahren, aber leider ist er im Alter nicht mehr so beweglich. Daher möchte er dieses Mal seine kleine Enkeltochter in den Ferien endlich mal besuchen. Darauf freut er sich schon sehr.

-Eine andere Teilnehmerin erzählte von einer Reise zu ihrer Mutter, die sehr entfernt in einem Altenheim lebt. Dabei besucht sie auch das leerstehende Elternhaus, um das Haus zu reinigen, wo sie aufgewachsen war. Das Besuch zum Geburthaus macht ihr viel Freude und sie genießt die Atmosphäre des Alleinsein und die Erinnerungen der Kindheit dort.

-Japaner lieben Onsenaufenthalte, die kurz und sehr erfrischend aber erholsam sind.

-Andererseits die Deutschen verbringen die längeren Ferien oder Urlaube an einem Strand und sich in schönen Hotels von morgens bis abends gut versorgen lassen.

Nächste Treffen :

Sa. 21. September 2024 Thema: Geschehen der Welt

9月の企画委員会開催のお知らせ

この会は協会と会員との交流のための会です。協会の事業について種々の企画のご提案をいただき、協会の活動は活発化しています。是非とも参加し、協会の運営や企画などにご意見を下さい。

日時: 2024年9月14日(土)15:00~17:00

場所: 神戸日独協会事務室兼会議室

話題: 9月以降の事業企画について。

ご出席いただける方は、事務室へ電話・メールにてご連絡ください。当日参加も可。

事務室からのお知らせ

会報印刷・発送ボランティア募集

次回の印刷と発送は9月27日(金)を予定しています。ご協力をお願いします。

印刷: kinko's 三宮店(神戸市中央区雲井通 4-2-2 マークラー神戸ビル 1F) 10::30~

発送: 神戸日独協会事務室にて、12:00~

お手伝いいただける方は事前に事務室へご連絡下さい(TEL 078-230-8150)。

行事等の写真について

会報には誌面の都合上、写真等は掲載できませんが、ホームページ・SNSでは覧いただけます。

 ホームページ Homepage	 インスタグラム Instagram	 X 旧 Twitter
---	---	---

これからの神戸日独協会の催し

日時	催し	会場	申込〆切 など
9月7日(土) 14:30~16:00	ドイツ歌声サロン	神戸リガッタ・アンド・アス レティック倶楽部教室	当日参加可
9月14日(土) 15:00~17:00	企画委員会	神戸日独協会会議室	当日参加可
9月20日(金) 19:00~21:00	桜の女王・ハンブルク日独協会 歓迎会	ステーキ&ビアレストラン 「ロイン三宮店」	9月18日まで
9月21日(土) 14:00~16:00	ドイツ語談話室	神戸日独協会会議室	当日参加可
9月22日(日) 14:00~16:00	ハントアルバイトの会 (ポーセラーツ)	神戸日独協会会議室	当日参加可